

- 民俗語彙には、カタカナ表記したものがあり、漢字をあてることができるものについては、（ ）を付け適宜示すとともに、初出以後の分は原則的に漢字を用いることとした。
- 史料の中で、もとの文字が欠失などで判読しがたい場合は□で字数を示し、字数の推定できない場合は□で示した。また、ミセケチは文字左側に「ミ」を添えて示し、黒塗りで判読できない抹消部分は■で示した。執筆者が史料に加えた傍注は（ ）、（カ）等で示した。
- 読みにくい用語には原則として各節の初出にふりがなを付した。
- 一覧表などに用いられる寸法単位はセンチメートルである。ただし、亀岡祭り山鉾実測図及び亀岡市文化資料館所蔵民具の寸法単位はミリメートルである。
- 年号は、この巻に限り、原則として近現代においても年号を優先し、（ ）内に西暦を付した。
- 文中の敬称は省略したところがある。
- 執筆に当たって参考にした文献は、本文中では（ ）に著者名と書名または論文名のみを示し、巻末の参考文献一覧に発表年・発行所などの書誌を記した。
- 写真提供などは巻末の写真・図・表一覧に記した。

新修亀岡市史 資料編第五巻 目次

発行のことば 谷口 義久
監修のことば 上田 正昭

亀岡の民俗誌

亀岡の民俗誌―野・山・川に生かされた暮らし―	二
峠の村・道の村―王子民俗誌―	九
川と宮座に生きる村―川関民俗誌―	七九
トキミズの村―出雲民俗誌―	一三三
氏子境のある村―太田民俗誌―	二四九

里山に暮らす村——土ヶ畑民俗誌——	三九
山ふところの里——大内民俗誌——	四二
国ざかいの暮らし——鎌倉民俗誌——	四九五

資料 編

亀岡祭り

一 山鉦のかたち	五五八
二 曳き山囃子	八〇八

方言

一 語彙の通信調査	八三九
二 談話の文字化	八四一
三 調査資料	八四三

有形民俗文化財

一 梵鐘等埋け型の原型資料	八三七
二 酒造用具	九三八

三 亀岡市文化資料館所蔵民具	九四一
四 地域の石造文化財	九九七

〔巻末資料〕

編さん委員・専門委員一覧
執筆分担一覧
資料提供・協力者一覧
写真・図・表一覧
参考文献一覧

細目次

亀岡の民俗誌

亀岡の民俗誌―野・山・川に生かされた暮らし……………二
峠の村・道の村―王子民俗誌……………九

一 王子素描……………12
二 道と峠の村……………12
三 近世の王子村 山陰街道をゆく 近代王子の歩み
ムラのすがた……………21
四 集落の景観 小字名
道行く人々……………24
五 王子と山……………25
六 共有林の管理と利用 山の稼ぎ
王子の産物……………33
七 換金作物の生産 栗の栽培 筍の栽培 蔬菜栽培
松茸の収穫
稲作の伝承……………38

稲作の概要〔耕地〕〔苗代と種粃〕〔田ごしらえ〕
〔田植え〕〔肥料〕〔農具〕〔収穫と調製〕 用水と
水の管理〔用水がかり〕〔池がかり〕 稲作儀礼〔苗
代のまつり〕〔サビラキ〕〔サナブリ〕〔土用〕〔平
夏生〕
八 四季の行事……………44
村の年中行事 正月迎えの諸行事〔門松切〕〔注
連飾〕〔餅搗き〕〔ホウライサン〕 一月の行事〔若
水汲み〕〔雑煮〕〔元旦祭〕〔総寄り年礼〕〔鏡開き〕
〔七草粥〕〔山ノ神〕〔お日待講〕〔小正月〕 二月
の行事〔節分〕〔初午〕 三月の行事〔春の彼岸〕
四月の行事〔雛節供〕 五月の行事〔ヨウカビ〕
八月の行事〔盆行事〕 九月の行事〔名月〕〔秋
の彼岸〕 十月の行事〔王子神社秋季例祭〕 十
一月の行事〔亥の子〕 檀那寺の年中行事
九 暮らし方の昔……………55
住居と屋敷 水利用 衣生活 食生活
一〇 村のつきあい……………59
組 氏姓 株 念仏講 その他の信仰的講 諸団

体〔若中と青年团组织〕〔処女会〕
一 村人の信仰……………64
王子の神社 王子の寺院と仏堂 民間信仰

二 村人の一生……………73
産育〔妊娠・安産祈願〕〔出産〕〔産後〕〔産のケ
ガレ〕〔宮参り〕〔育児〕〔食の初め〕 婚姻 葬
と墓
三 暮らし……………77

川と宮座に生きる村―川関民俗誌……………七

一 はじめに―川関の概要……………82
二 村落の組織と運営……………84
組とカブウチ 講集団 村落の運営と財産
三 暮らしとなりわい……………91
水田と用水をめぐる伝承 暮らしと諸職
四 社寺の祭祀とその組織……………96
宮の党と経の党 神社祭祀の構造と変遷
五 神社と寺院をめぐる行事と伝承……………115
宮垣神社の年中行事 宗福寺の伝承と年中行事
六 四季の行事と民間信仰……………117
正月行事と予祝 春の行事と農耕儀礼 盆の精霊
祭と秋の行事
七 通過儀礼と墓制……………124

誕生の儀礼と婚姻 葬送儀礼と墓制
八 暮らしにかえて……………127

トキミズの村―出雲民俗誌……………一三二

一 彼岸花の村……………134
都市化する大堰川右岸 134
丹波に出雲と伝う所あり 大型スーパー オオ
カワと川東
二 彼岸花の咲く風景 137
五つの町 川東の風景 彼岸花と棚田
三 出雲ジハンとザイシヨ 139
出雲への道 ザイシヨとチヨウ 嫁にやれない
四 雨乞い踊りの村 146
雨乞い観音 出雲大神宮 花踊り
二 出雲山と宮水……………151
一 出雲の山々 151
御影山 出雲三山
小峠山とチヨウ・伊勢講 153
キュウチヨウとシンチヨウ 旧上町の山 穂永
山 伊勢講山とシンチヨウ山 ソウモン
三 御影山の名水 160
大神宮の名水 生命の水
三 トキミズの里……………167

(一)	出雲の水源と水田	167
(二)	川東の水源 千歳町の水源 出雲の水源と水田	
(三)	ミズバンとチカラミズ	170
(四)	アラミズとミズバン チカラミズ トキミズ	
(五)	トキミズと番水保	172
(六)	番水帳 番水保 分水樋 トキミズ	
(七)	出雲の家と暮らし……	185
(八)	出雲の生	185
(九)	オモヤとインキヨ カブ 出雲に嫁ぐ 出雲に生まれる	
(一〇)	出雲の家	190
(一一)	坂に建つ 母屋の屋根と間取り ニワノマミソベヤ 井戸 風呂と便所 ナヤ ダイドコロヘヤとナカノマ 座敷とシモノマ 座敷 谷尻家の家	
(一二)	一日の暮らし	201
(一三)	朝の暮らし 昼の暮らし 買物 夜の暮らし	
(一四)	出雲の春夏秋冬……	214
(一五)	冬の暮らし	214
(一六)	裏作 カンスギ 正月準備 正月 山の神伊勢講 トンド 小豆粥 粥占 節分 冬の山	
(一七)	春の暮らし	226
(一八)	田起し 春の彼岸 春の山 苗代 ナカヅクリ	

(一)	田植えとサビラキ	
(二)	夏の暮らし	233
(三)	草取り 土用干し 夏の山 タッチヨマイリシンダナ オシヨライサン 法会 地藏盆	
(四)	秋の暮らし	239
(五)	秋の彼岸 例祭 秋の山 稲刈りと脱穀 糶摺り 販売 十夜と亥の子	
(六)	出雲の死	244
(七)	厄年 葬送 年忌	
(八)	おわりに――出雲の景観……	246

氏子境のある村――太田民俗誌――

一	はじめに……	252
二	二つの氏子……	256
(一)	大井神社と韓田野神社	256
(二)	氏神の祭りと太田の負担	260
(三)	大井祭り 佐伯灯籠	
三	ムラ組織とカブ……	267
(一)	ムラの自治組織	267
(二)	組とカブ	271
(三)	同族祭祀とカブ	276
(四)	奥村カブの春日神社 堤カブの勝手神社 松井八幡神社	

四	伊勢講と念仏講……	283
(一)	堤カブと東大講	283
(二)	松井カブと伊勢講	287
(三)	西の伊勢講	290
(四)	地藏講と念仏講	294
五	一年間の行事と太田の暮らし……	298
(一)	正月の準備と正月行事	300
(二)	春から夏へ	305
(三)	盆の行事	311
(四)	秋から冬へ	316
六	祖霊祭祀……	319
(一)	ラントウとミバカ	319
(二)	精霊迎えと精霊送り	323
七	おわりに……	325

里山に暮らす村――土ヶ畑民俗誌――

一	集落と環境……	334
(一)	ムラの成り立ちとすがた	334
(二)	ムラの成り立ち ムラのすがた	
(三)	土地と生活	337
(四)	生活文化圏 生活用水 電気 電話 開発	
(五)	暮らしと生業空間……	340
(六)	田んぼと里山の利用	343

(1)	稲作 鋤き込み タネマキゴシラエ タゴシラエ水をあてる シロズキ 田植え 追肥 サナブリ アゲグサ 虫送り 雨乞い 稲刈り	
(2)	裏作	
(3)	出作	
(4)	炭焼き	
(5)	割木	
(6)	高野豆腐	
(一)	ムラの産物とその販売	356
(二)	女性が支えた生活 早乙女	357
(三)	日々の暮らし	359
(四)	衣食生活	
(1)	衣食生活	
(2)	食生活	
(3)	住生活	
(4)	住まいと暮らし 屋根の管理 屋根葺き職人	
三	ムラの自治……	366
(一)	地域社会	366
(二)	組織 役員とその選出 自治会活動	
(三)	協同慣行	368
(四)	ムラの相互扶助	
(五)	人の一生と人生儀礼……	369
(六)	誕生と成長	370

妊娠と安産祈願 妊婦の生活 出産と里帰り	
後産と産湯の処理 産着 厄年のときの子	
産婦の死 産見舞いと出産祝い 乳の与え方 産後の祝いと儀礼 初誕生までの儀礼 子育て子供の病氣と祈願 成長祝いと年祝い	
(一) 婚姻習俗 375	
(二) 葬儀と供養 375	
死の予兆 葬式の準備と手伝い 葬式 野辺送り 香典 ハイソウマイリ 二日洗い 初七日 七本塔婆 四十九日 服喪 追善供養	
五 社寺と信仰…… 384	
(一) 社寺をめぐる民俗信仰 384	
八幡宮社 祭祀組織 元宮 観音堂 寶勝寺 ムイカノトウ	
(二) 伊勢講と観音講 391	
伊勢講 観音講	
(三) 今はなきさまざまな講 395	
六 一年の行事…… 397	
(一) 正月行事 398	
餅搗き 正月飾り 大晦日 若水汲み 正月の食事 新年を祝う式 年始挨拶 仕事始め 三が日の忌み 村礼まいり ムイカノトウ 七日正月 山の神 伊勢講 トンド カユマイリ	

初談会 蔵開き	
(一) 春から夏の行事 407	
(1) 二月の行事 節分 涅槃会	
(2) 三月の行事 彼岸 常会	
(3) 四月の行事 雛節供	
(4) 五月の行事 端午の節供 ヨウカビ	
(5) 六月の行事 田植え	
(6) 七月の行事 半夏生 夏祭り 虫送り	
(二) お盆の行事 413	
(1) 八月の行事 お日待ち 墓掃除 仏さん迎え 棚経 仏さん送り 新盆 地藏盆 送り盆 サンヤレ 盆踊り	
(四) 秋から冬への行事 415	
(1) 九月の行事 運動会 彼岸の道作り ほうぜ(放生会)	
(2) 十月の行事 栗節供 秋祭り	
(3) 十一月の行事 時米 亥の子	
(4) 十二月の行事 禰宜の交替 事始め	
七 おわりに…… 418	
山ふところの里——大内民俗誌—— 四三	
一 大内の成り立ちとその概要…… 424	
(一) 大内の景観 424	

大内へ 集落・垣内 山の利用と生活環境	
(一) 東本梅村から亀岡市へ 427	
亀岡市への合併 東本梅村のこと	
(二) 大内への交通路 431	
桜峠を切り開く「丹バス」のこと	
二 ムラの暮らしとしくみ…… 435	
(一) 大内の社会組織 435	
区の組織 株 講集団 (ア)伊勢講 (イ)念仏講 (ウ)愛宕講 ムラと株・組	
(二) 人の一生 447	
婚姻 子どもの誕生と成長・成人 葬送と死後の祀り 墓地と墓制 人の一生と社会	
三 大内の生業…… 459	
(一) 農業の展開 459	
奥ノ原の開発 稲作 (ア)苗代づくり (イ)田植え (ウ)サナボリと草取り (エ)稲刈りまで (オ)収穫 丹波地方の養蚕と大内	
(二) 砥石山をめぐる生活 467	
砥石業と大内 砥石業と山の権利 砥石ができるまで (ア)見立て (イ)採掘作業 (ウ)切断作業 (エ)ハツリ作業 (オ)ツラツケ 砥石山の生活	
四 ムラの暮らしと年中行事…… 478	
(一) ムラの年中行事 478	

氏子團の変遷と藪田神社 大内神社の年中行事	
(ア)百灯祭 (イ)湯立祭 (ウ)その他・秋の例祭	
(二) イエの年中行事 483	
春を迎える (ア)餅を搗く (イ)正月飾りの準備 (ウ)年末年始の料理 松の内の儀礼 (ア)元日 (イ)砥石職人の仕事始め (ウ)七草粥とトンド (エ)その他 初夏から盛夏へ (ア)ヨウカビ (イ)盆踊り 秋から冬へ (ア)亥の子 (イ)フイゴマツリ	
五 まとめ——大内に暮らす…… 490	
国ざかいの暮らし——鎌倉民俗誌—— 四九五	
一 地域の概要…… 498	
二 ムラの組織…… 499	
役職 鎌倉神社 寺院 相続 青年団	
三 信仰的講集団…… 504	
庚申講 水神講 伊勢講 行者講 愛宕講 妙見講	
四 ムラと家の神仏…… 508	
神棚 かまど神 山の神 その他	
五 年中行事…… 509	
一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月	
六 宮座の行事…… 516	

七	宮座 宮座株の変遷	
	人生儀礼……	535
八	結婚と出産 葬送儀礼	
	生業……	541
	稲炭 椎茸 寒天 柿 松茸 牛 材木切り	
	その他	
九	西国三十三所巡礼……	550
一〇	おわりに……	555

資料編

亀岡祭り……………五五六

一	山鉦のかたち……	558
(一)	史料に見る山鉦のかたち	560
①	「丹波国桑田郡矢田之祠記」	564
②	「丹波国桑田郡矢田郷矢田社之祭法」	567
③	矢田祠記別録 乾・坤	584
	「矢田祠記別録下書 乾」(抄)	584
	「矢田祠記別録 坤」	600
④	「矢田神社神事勸方記」	627
⑤	「矢田神社御祭礼之節取計算」	640
⑥	矢田祭礼行列帳	643

二 曳き山囃子……808

(一)	亀岡祭りと曳き山囃子	808
(二)	口唱歌(譜)	809
①	三輪山	811
②	翁山	816
③	高砂山	819
④	難波山	825
⑤	武内山	828
	(⑤—1) 現行のもの	828
	(⑤—2) 古文書にふくまれているもの	833
⑥	八幡山	836

方言……………八三六

一	言葉の通信調査……	839
二	談話の文字化……	841
	音声 アクセント 文法	
三	調査資料……	843
(一)	言葉の通信調査資料	843
	A 亀岡市内の地域差に関する項目	843
	B 京阪対立を示す語形	845
	C その他の項目	849
(二)	談話の文字化資料	859

有形民俗文化財……………八三七

一	梵鐘等埋け型の原型資料……	897
	はじめに 鑄型の造型 鑄造製品の種類と販路	
二	酒造用具……	928
三	亀岡市文化資料館所蔵民具……	942
四	地域の石造文化財……	997
	亀岡地区 篠町 大井町 千代川町	1001 1019 1032 1042
	東つじヶ丘・西つじヶ丘・南つじヶ丘	1051 1051
	馬路町 旭町 千歳町 河原林町	1052 1065 1069 1083
	保津町 吉川町 藤田野町 曾我部町	1088 1096 1098 1109
	本梅町 畑野町 宮前町 東本梅町	1129 1138 1142 1151
	西別院町 東別院町	1155 1167

⑦	矢田祭礼行列帳	648
⑧	矢田祭礼行列帳	650
⑨	矢田祭礼行列帳	652
⑩	矢田神幸行列帳	655
⑪	矢田神幸行列帳	656
⑫	「引山記」	658
⑬	「八幡山記」	667
⑭	「八幡山御改造三付諸事儉約申合」	669
⑮	懸装品等箱銘	670
(一)	懸装染織品	711
	矢田社祭礼と櫻舟 風流山の出現 充実期の懸	
	装品 風流山の完成 結語	
(二)	ご神体人形の衣装	736

(三)	翁山(三宅町) 難波山(矢田町・京町・上矢田町)	
	高砂山(柳町) 三輪山(本町) 武内山(紺屋町)	
	八幡山(西町) 蛭子山(塩屋町) 稻荷山(新町・旅籠町)	
	欽山(北町) 浦島山(呉服町)	
	羽衣山(東豎町・西豎町) 蛭子山・八幡山・浦島山の萌葱地牡丹文錦紗について	
(四)	山鉦の形態	764
	山鉦 翁山 難波山 高砂山 三輪山 武内山	
	八幡山 蛭子山 稻荷山 欽山 浦島山 羽衣山	